

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 5 月 25 日 (2006.5.25)

【公表番号】特表 2005-523623 (P2005-523623A)

【公表日】平成 17 年 8 月 4 日 (2005.8.4)

【年通号数】公開・登録公報 2005-030

【出願番号】特願 2003-586847 (P2003-586847)

【国際特許分類】

**H 0 4 Q 9/00 (2006.01)**

**H 0 4 N 5/00 (2006.01)**

【F I】

H 0 4 Q 9/00 3 1 1 W

H 0 4 Q 9/00 3 0 1 E

H 0 4 Q 9/00 3 3 1 A

H 0 4 N 5/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 3 月 30 日 (2006.3.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電子機器を制御するための遠隔制御装置であって、

電圧を有する電源、

ユーザ入力機構、及び

バックライト光源から構成され、

前記ユーザ入力機構が起動され、且つ前記電圧が所定の閾値以上である場合、前記バックライト光源は第 1 の所定時間発光させ、

前記ユーザ入力機構が起動され、且つ前記電圧が所定の閾値未満である場合、前記バックライト光源は第 2 の所定時間発光させることを特徴とする遠隔制御装置。

【請求項 2】

遠隔制御装置の電源が低電圧状態にあることを示す方法であって、

前記電源の電圧を把握し、

ユーザ入力機構が起動された際に前記電圧が所定の閾値以上である場合は、前記遠隔装置に置けるバックライト光源を第 1 の所定時間起動し、

ユーザ入力機構が起動された際に前記電圧が所定の閾値未満である場合は、前記遠隔装置に置けるバックライト光源を第 2 の所定時間起動する工程を含むことを特徴とする方法